

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

2020年2月12日

各位

禁煙推進企業コンソーシアムへの加盟について

- ・ 禁煙推進企業コンソーシアムへの加盟を機に、より一層の社内禁煙を推進
- ・ 「中外製薬グループ禁煙宣言」に基づき、2030年未までにグループ会社従業員において喫煙ゼロを目指す

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：小坂 達朗）は、禁煙推進企業コンソーシアムへ加盟したことをお知らせいたします。

中外製薬グループでは、従業員一人ひとりが心身ともに健康で働きがいとやりがいを持って仕事に取り組める環境こそ成長の基盤であると捉えており、「中外製薬グループ健康宣言」（2017年12月発信）を基に、さらに高い意識をもって健康経営への取り組みを進めていくことを社内外に表明しています。具体的には、健康経営の重点項目として、がん対策、生活習慣病対策、メンタルヘルス対策、プレゼンティーズム対策、ヘルスリテラシー向上、職場の安全対策の6つを定めて活動を展開しています。この一環として、2019年9月に「中外製薬グループ禁煙宣言」を発信し、「2030年末時点で国内外の中外製薬グループ従業員において喫煙ゼロ」を目指すことを宣言しています。

禁煙推進企業コンソーシアムは、東京に本社や事業所を置く23の企業・団体を中心として、公益社団法人 東京都医師会および公益財団法人 日本対がん協会と連携のもと、「社内禁煙の推進」に特化し、2019年4月に設立されたものです。2018年3月に閣議決定された「がん対策推進基本計画（第3期）」で目標としている2022年度の喫煙率12%を各企業・団体に達成することを共通の目的としています。

当社は、「企業による先進的な禁煙の取り組みを通じて、社会全体に禁煙の重要性を発信していくことで、喫煙による健康被害のない健康的な社会の実現、健康寿命の延伸に貢献する」という活動趣旨に賛同し、本コンソーシアムへ加盟することを決定いたしました。このたびの加盟を機に、喫煙による従業員の健康リスク低減に一層の貢献をするとともに、大切な家族や周囲の人を受動喫煙から守ることを通して、広く健康な社会づくりに寄与できるよう取り組んでまいります。

以上

【参考】

中外製薬グループ禁煙宣言について（2019年9月25日発表プレスリリース）

https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/20190925100001_886.html